

福井みな子の市政報告

芦屋市議会議員

福井みな子



6月議会トピック

◆定例会は6/30に閉会し、市長提出議案はすべて可決されました。

◆議会役員選挙、各委員の選任があり新体制が整いました。

◆子ども・子育て支援法施行令の一部改正により、ひとり親世帯等及び多子世帯に係る保育料の引き下げが決定しました。

◆精道中学校は老朽化が著しく、平成32年度中に自校調理方式の給食を開始することから建替えを行うこととなり、基本構想(配置計画)が示されました。

◆山手中学校の改築工事請負について条件付き一般競争入札を行った結果、契約金額5,550,097,320円で大末建設株式会社(大阪市)に決定しました。

芦屋市の幼稚園・保育所のあり方

～修正案の申し入れの後、市は統廃合案の一部を変更しました～



喫緊の課題である「待機児童解消」と「市立幼稚園の充足率の解消」を目的とした市立幼稚園・保育所の統廃合案が、去る2月13日に市から示されました。この統廃合案に対しては市民の皆様より多くのご意見・ご要望が私の元にも届きました。皆様の声を反映しつつ統廃合案を見直し、私の会派である「あしや真政会」、「公明党」、「日本維新の会」の14名の議員は統廃合案の修正を申し入れました。その結果、この6月議会において、市は統廃合案に対する多方面からのお声を受け、計画の一部を変更しました。

変更点は、以下の通りです。

①山手圏域における保育定員の確保について

駐車場、スクールゾーン等の課題の解決を検討し、市立朝日ヶ丘幼稚園跡地には私立幼保連携型認定こども園を誘致する。(平成33年4月開園)

②市立打出保育所について

民間移管の時期を平成34年4月に変更する。

③西蔵町市営住宅跡地の市立幼保連携型認定こども園について

市立伊勢幼稚園跡地への私立幼保連携型認定こども園の誘致の検討を含め、定員規模の縮小を検討する。

保護者や市民の皆様が不安に思われていた問題について、市から修正案が示されたことは評価をしますが、細かな部分に関しては、さらに検討すべき点もあります。今後も市民のお声を受け止め、取り組んで参ります。



芦屋市霊園に「合葬式墓地」建設

H30年度実施設計、31年度～32年度工事、33年度開設予定

高齢化社会の進展により、日本は多死社会を迎えようとしています。多死社会とは、高齢者の増加により死亡者数が非常に多くなり、人口が少なくなっていく社会形態のことです。厚生労働省の推計によると2030年の年間死亡者数は約160万人に達し、2015年の約131万人からおよそ30万人もの増加が見込まれています。

このような多死社会に伴う課題の一つが、「お墓のあり方」です。少子高齢化や核家族化が進む現在、承継者を必要としない「合葬式墓地」といった新しい納骨施設のニーズが高まっています。これからの時代に適応するべく、市は、芦屋市霊園内に「合葬式墓地」(約4,500柱安置を予定)を建設すると発表しました。この計画に先立ち、昨年8月、市民2,700人、霊園使用者300人を対象にアンケート調査を実施しており、その結果「合葬式墓地」が必要であると回答した人は全体の52.5%を占めていること、その理由は「子や孫に負担をかけたくない」、「無縁になる心配がない」、「使用料が安価である」であることが分かっています。市民の声に応えた結果でもあるこの「合葬式墓地」は、家族や血縁を超えて人々が集い、永続的に継がれていくお墓を目指しています。

＜お問い合わせ＞市民生活部環境課 ☎31-2121(代表)

合葬式墓地とは

管理者が合葬室とモニュメントでひとつの大きなお墓を建設し、骨壺から出した遺骨を他の方々と一緒に納骨(共同埋葬)する墓地。初めの一定期間(10年～20年)は骨壺で安置し、その後に骨壺から出して納骨されるケースもある。納骨後は遺骨を取り出す事はできない。(安置期間中は可能)使用期限は永年で承継は不要。使用料は一般的な墓地や納骨堂に比べて安価。



議会運営委員長を務めることになりました!

議会運営委員会とは、円滑な議会運営のために、議会運営全般について協議し意見調整を行う委員会です。

夏季休暇中の留守家庭児童会(学童保育)を開催します

現在、学童保育の待機児童が出ているため、今年度の夏休み期間に限り精道幼稚園の空き教室を活用して実施。

＜期間＞7月20日～8月31日
＜時間＞平日 8時～17時
(延長育成は、～19時)
土曜 9時～17時
＜定員＞35人



福井みな子の一般質問

国道43号打出交差点の問題について

～歩道橋へのエレベーター設置を求めました～

打出交差点の問題点については、多くのお声が届いています！



私の考え



当交差点及び市道稲荷山線～阪神電鉄踏切の交通渋滞については、市民の皆様からの改善を求める声が絶えず、多くの議員による指摘もありましたが、状況が変わる兆しは一向に見えません。有効な方策の1つとして阪神本線の立体交差化が挙げられますが、高額な事業費用、長期の交通規制等が懸念されます。安全の確保に向けて、引き続き関係機関への要望を続けていくべきでしょう。

また、この交差点には横断歩道橋が設けられていますが、その利用者を見かけることは稀です。特に多くの高齢者にとって階段やスロープは足への負担になるようです。横断歩道とは、こちらの横断歩道は特に長く、高齢者の中には青信号の間に渡りきれない方もおられるようです。改良工事による横断歩道の拡幅で人の流れが分散し危険が緩和されたようにも思えますが、自転車利用者や歩行者が多いことに変わりはありません。一方「エレベーターの設置」の実現は、歩道橋利用者の増加と安全の担保につながると考えられます。

現在進められている市営住宅集約事業（高浜町）や、西藏町に予定の認定こども園を考慮すると、人の流れの増加、中でも高齢者の通行の増加が予測されます。エレベーターの設置を検討すべき時が来ているのではないのでしょうか。

質問①交差点及び市道稲荷山線～阪神電鉄踏切の交通渋滞に有効な改善策はあるのか。

（回答）通行の円滑化及び安全性の確保を図る上で、立体交差化が有効な手段であるが本市の財政状況への影響等から現在のところ実施は困難である。

質問②歩道橋へのエレベーター設置を要望するが市の見解を問う。

（回答）歩行者等の安全性や、バリアフリーの観点からも有効な対策として、引き続き国へ要望する。



小学校通学区域について

質問 通学区域以外により近い小学校がある場合、通学距離で就学する学校を決定する「子どもたちの安全性をふまえた通学区域の検討」ならびに「市内全域の実態に応じた制度の見直し」を要望するが、市の見解を問う。

（回答）児童数の長期的な把握や推計が困難になり、適切な教育環境の整備が難しくなることなど弊害が生じるため現在のところ制度の導入は考えていない。



私の考え

例えば朝日ヶ丘小学校の通学区域である東山町の一部の地域からは、徒歩5分程で岩園小学校に通学が可能であるのに対し、朝日ヶ丘小学校への通学には約20分以上も要します。

近年、登下校時の子どもを狙う犯罪や交通事故など、痛ましい事故が日本各地で発生しています。このようなリスクは通学にかかる時間が短いほど低くなると感じ、隣接区域の学校への通学を願う保護者の想いは当然のことといえるでしょう。

芦屋市の場合は従来より町単位で通学区域を定め、その区域ごとのコミュニティ活動を通じて子どもたちの成長を見守る取り組みが定着していることは認識しており、尊重すべきであると思いますが、安心・安全な通学のための通学手段の確保を優先的に考える必要があるのではないのでしょうか？

特殊詐欺被害対策について

質問 高齢者に対する特殊詐欺被害の撲滅に向けての具体的な対策を問う。

（回答）広報あしや7月1日号に防犯特集を掲載して広く周知を図る。今後も警察と連携し、周知・啓発を徹底するとともに関係機関とも情報の共有を図りながら、被害防止の取り組みを進めていく。

私の考え

特殊詐欺は警察が講じた対策や取り締まりから逃れようと、ますます巧妙化しています。警察との連携のもと、新たな犯行手口や発生状況を地域の皆様に素早く確実に伝えること、そして地域が一体となり備える事が重要であると考えます。今後は広報車を活用した啓発にも努めていくとの答弁も頂きました。また、公光町に設置されている消費生活センターについては立地の利便性を活かし、カフェを併設した情報提供の場を作るなど、悪徳商法や特殊詐欺の情報取得のための環境整備を求めました。

編集後記

長年ご指導を賜り、時には親身なご叱正も頂いた書道の師とのお別れがありました。元教育長でもあった先生。遺された数々の教訓を人生に活かしていく事がご恩に報いる道でもあると考え、一日一日を大切に精進して参ります。

いよいよ夏本番を迎えます。熱中症対策は万全に、健やかに過ごされたいと思います。あしや真政会 福井 みな子(自民党)

◆◆◆◆◆ 福井みな子プロフィール ◆◆◆◆◆

1962年生まれ。茨城キリスト教短大卒。東京海上火災保険(株)本店、日本航空(株)、外資系航空会社、(株)JAL エクスプレス勤務。専門学校講師を経て、平成23年芦屋市議会議員初当選。平成25年度建設公営企業常任委員長、平成27年度総務常任委員長、平成28年度阪神水道企業団議会議員、平成28年度決算特別委員長、自民党芦屋支部 常任顧問

あしや真政会所属 福井みな子

市政報告 No. 25 平成29年7月発行

〈連絡先〉芦屋市浜町14-6-303 TEL & FAX : 34-0240

http://www.fukui-minako.com E-MAIL : fukui.minako@gmail.com